「探究し続ける縣陵人」のための情報誌

TANKYU NEWS

9
Sep.

MATSUMOTO AGATAGAOKA Senior High School

発行　探究学習推進室
〒390-8543 松本市県２－１－１
松本県ケ丘高校　TEL 0263-321142

普通科二年生中間発表会を実施（9 月 14 日）
いつものゼミから離れて、「中間発表会」を各クラスで行いました。探究が予定通り順調に進んでいる人も、そうでない人もいますが、とてもユニークで自由なテーマがそろいました。和やかなそれぞれ自分の言葉で発表を行っていることころが印象的でした。普通科では 11 月 2 日に最終発表会を行います。

中間発表を行う２年Ｆ組（普通科）のみなさん

KRGP2023 はじまる

今年度の賞

- 最優秀賞（グランプリ）１名
- 優秀賞（普３探３）６名
- 奨励賞 15 名
- 英語発表賞 １名

特別賞：奨励賞から「質実剛健賞」「大道闊歩賞」「弱音を吐くな賞」の三賞

1 月 26 日（金）に開催される KENRYO Researchers Grand-Prix 2023 の概要が判明しました。今年度の 2 年生は 11 月 2 日に普通科のみの最終発表会を、12 月 7 日に探究科のみの発表会を行い、この KRGP に臨みます。KRGP は今年度で 5 回目。その間、大学や様々な企業の皆さんにサポートいただきながら、コロナ禍を乗り越えてきました。縣陵の探究活動の代名詞ともいえるこの発表会にむけ、計画をブラッシュアップしましょう。

スケジュール

- 1/11(木)　レポート提出
- 1/15(月)まで　一次審査　担任・ゼミ担当
- 1/22(月)まで　二次審査　審査係
- 1/26(金)KRGP 当日
  - AM　三次審査　全員プレゼン
  - PM　入賞者発表 → 最終審査　代表者プレゼン → 最終結果発表・講評

探究科２年生
清水中生と「いっしょに探究」。

9 月 14 日（木）、自然探究科・国際探究科 2 年生の約 80 名が清水中学校を訪問。清水中学校 2 年生 100 名が行う「働くこと」や「仕事」をテーマにしたプレゼンに対して高校生がアドバイスしました。本校と清水中との連携事業の一環として毎年恒例となっています。今回は、高校生が助言するという立場でしたが、そのことによって逆に高校生が学ぶことの多い会でした。学び、探究する機会はいたるところに転がっています。様々な場面に積極的に挑戦してみましょう。

豪州留学中の花村さんから
レポートが届きました。

トビタテ留学 Japan 新・日本代表プログラムで今夏からオーストラリア・ブリスベンに留学中の花村怜美さん（国際探究科）からレポートが届きました。言葉がすべてうまく通じるわけではない環境で「孤独」を感じながらも、挑戦し、自分を見直すという花村さんの姿勢が語られています。仲間の勇気ある挑戦から学ぶことも多いように思います。そして、ホストファミリーとの日常の過ごし方なども具体的に紹介していただき、これから留学を検討している人にとっては必読の内容となっています。花村さんには、これから定期的に報告を送ってもらうことになっていますので、みなさん楽しみにまっていてください。

Check it out!

in Australia

皆さんこんにちは！ 2-Bの花村怜海です。私は1年間トビタテ留学Japan を使ってブリスベンに留学しています。今回はオーストラリアの生活を紹介できたらと思っています。

留学生活2ヶ月で感じたこと

この2ヶ月で色々なことを経験し色々な感情を体験することができました。留学前の感情は緊張より新しいことをたくさん経験できる新しい環境に飛び込むというワクワクの方が大きかったですが、実際に留学に来てみて日本との生活とは全く違う世界で、戸惑いが大きかったです。楽しいことばかりじゃなく、最初は学校に行っても、友達と気兼ねなく話したり笑い合ったりすることが難しかったり、授業で先生が言っていること、ホストが話してることが理解できなくて孤独を感じることもありました。でもどんなことも挑戦してみないと軽々できないことで自分を見つめ直すきっかけにもなり、気持ちの面でもすごく成長できてるなと感じています。

週末の過ごし方

私はホストがいろいろなところ連れていってくれることが多かったのでゴールドコーストでエアプレインショーを見たり、ジンブンバーでキャンプ、オーストラリアzoo、south bank、などにホストと遊びにいくことが多かったです。一番楽しかったのは私の誕生日です！ 誕生日に友達を呼んで家で誕生日パーティーをしました。オーストラリアの文化を経験することができ、日本との違いも楽しむことができました。

ホストファミリー

ホストマザーファザー2人のブラザーたまに帰ってくるホストシスターとイタリア人の留学生が一緒に住んでいます。ホストは行きたいやりたいと思っていることを優先させてくれて、話しを聞いてくれたり話しかけてくれるのでほんとに心地いいです。イタリア人の留学生はとても優しくしてくれて、一緒にショッピングに行ったり、いろんなことを話すことができていて、距離がとても近くなったと思います:) すごく恵まれた環境で生活できているなと感じています。カレーや唐揚げカツなどの日本食もよく作っています。

学校生活

学校は7~12年生がいる2000人ほどの大きな学校に通っています。強化は自分で選択することができ、教科ごとにクラスのメンバーや先生が異なっていて、毎時間指定の教室に移動するという形です。教科は日本語や英語、数学の他に、ビジネスや心理学、フィルム、ダンス、デザインなど珍しい教科もたくさんあります。全部英語での授業や英語での課題、テストなど大変なこともありますが、わからなかったら先生や友達にたくさん質問することで、なんとか理解できています。一人で抱え込むのではなく、いろいろな人を頼るという習慣ができたと思います。

トビタテ留学Japan

トビタテ留学Japanは自分の探究したいこと、気になること調べてみたいことを自分の選んだ国で実行するということをサポートしてくれる制度です。私は野生動物と人間の共存共生というテーマを掲げ、野生動物が多く人々の意識も高いオーストラリアで身近に動物を感じ、学ぶことが出来る動物園や水族館で調査を行っています。今の時点では現地の人にアンケートをしたり、動物園を訪れ感じたことを書き出したりしたいます。オーストラリアの動物園は保護ということにフォーカスしていて、至る所に絶滅危惧種の動物の説明の看板があったり、動物のことを紹介するという説明ショーが行われていたりしていました。

信州探 Q カフェ
まだギリ間に合います

マイプロジェクトアワードにつながる「信州探 Q カフェ」が」10 月 1 日にオンラインでおこなわれます。自分の探究がまだうまく言っていないくても、テーマがふわっとしていても大丈夫。助けてもらうつもりで参加してみよう。

申し込みはこちら